神奈川トヨタのレクサス相模原で開催

泉里歩さんの作品展
「アート・トラック」活躍

神奈川トヨタ自動車のレクサス相模原で、一般財団法人カルチュラルライツ（上久保直紀代表・アートディレクター）が主催し、油彩画や細かな線で埋め尽くしたようなドローイング作品を制作する同財団所属アーティストの泉里歩さんの作品の展示会を開催した。

同財団が活動の核とする移動式ギャラリー「アート・トラック」（神奈川トヨタ自動車製作）による作品展示が7月17、18日、22～25日に行われ、ショールーム内での展示は7月14～26日まで実施された。また、17、18日は泉さんによるライブペインティングイベントも開催された。

上久保代表は「児童養護施設や、アートに触れる機会が少ない方々に、作品を鑑賞する機会を届ける目的で、移動式ギャラリーを行うことを企画した」と経緯を述べ「今後は企画ごとに若手アーティストとコラボし、寄付を募りながら開催していく予定だ。また、主眼の活動として美術教育事業としてワークショップのようなアートを体験できるプログラムを提供していきたい。展示会とワークショップが一緒に出張し開催していきたい」と展示会の輪を広げていく意欲を述べた。

泉さんは「この展示会のため約1カ月かけて作品を仕上げた。言葉にできない感動や作品に込められた圧力を感じてほしい。また、絵を描く楽しさも同時に広めていきたい」と抱負を述べた。

神奈川トヨタの特装商品開発部で製作されたアート・トラックは、絵画を照らす広角のLEDを用い、トラックの天面に設置した太陽光パネルを電源にしている。展示する絵画は荷台に固定され、移動中に損傷しない工夫や、絵画だけではなく、花瓶のような脆弱などを置けるように、奥行きを設けることもできる。また、ワークショップを行う際には作業台になるなどの工夫も盛り込んでいる。

移動展示ギャラリー車の「アート・トラック」

泉里歩さんによるライブペインティング